

0 背景と目的



学習への集中がそがれるような学習用具がある。



学習しやすい用具を使って、より理解を深めたい。

全国学力・学習状況調査の結果と接合し、不利な環境にある子どもの底上げに成功している「効果のある学校」を選びその特徴を探ったところ、効果のある学校には、学校における「学習規律の徹底」、「学校と家庭・保護者との関係」や、子どもの「学習習慣」、「自尊感情」、「規範意識」、「社会や地域への関心」等に特徴が認められた。

※文科省 HP 資料 2-5 全国学力・学習状況調査によって明らかになった主な事項

学力向上に効果的であるので、徹底的に取り組みたい。

確かな学力の向上を図るため、児童が落ち着いた雰囲気の中で学習に集中することができる環境をつくる。また、規範意識を身に付ける指導体制のもととなる「きまり」をつくる。

1 持ち物のきまり

【筆箱の中】

○鉛筆

- ・ 3～5本…家で削っておくようにしてください。家で削り忘れていた場合は朝のうちか休み時間に削るようにしてください。
- ・ 低学年は筆圧が弱いので、整った字を書けるように B 及び 2B を推奨します。高学年は、HB か B が適当です。
- ・ 正しい持ち方を身に付けるため、六角形か三角形の鉛筆を推奨します。
- ・ 頭に飾りがついている鉛筆やシャープペンを使用を禁止します。シャープペンの禁止理由は次頁の通りです。係活動や委員会、クラブ等でも使用を禁止します。

○消しゴム

- ・ 機能性を考え、華美でないシンプルなものを推奨します。

○直定規

- ・ 筆箱に入る程度の長さのものにしてください。
- ・ 線が見えるよう、透明なものを推奨します。
- ・ 折りたたみ定規は、集中力がそがれるため不可とします。

○赤鉛筆

- ・ 低学年は、鉛筆に慣れるためという観点で赤鉛筆にしてください。中・高学年は筆圧も強くなるため、赤ペンでも可です。多色ボールペンは、ノック音等により集中力がそがれるため不可にします。

○その他

- ・ 鉛筆キャップは授業中に使うことはありません。しかし、筆箱の中で使用するのは可です。

【参考】シャープペンシル使用禁止理由

- ①芯が折れやすく、学習に集中できない。
- ②芯を出すときのノック音や操作により、学習に集中できない。
- ③分解遊びにより、学習に集中できない。
- ④芯が折れやすいので、しっかりとした筆圧で書かせることができない。
- ⑤シャープペンシルは太さが統一されていないため、正しい持ち方の指導が曖昧になる。
- ⑥芯が鋭利であり、ケガをする可能性が高い。



【学校に置いておく学習用具（道具箱の中）】

- スティックのり
 - ・しわになりにくく、汚れにくいのでスティックのりとします。
- 体育帽子
- はさみ
- 色鉛筆・クーピー
- リコーダー
- （跳び縄）、（三角定規）、（コンパス） ※必要に応じて



※その他、折り紙、セロハンテープ、下敷き、クレヨンについては置いてもよいです。

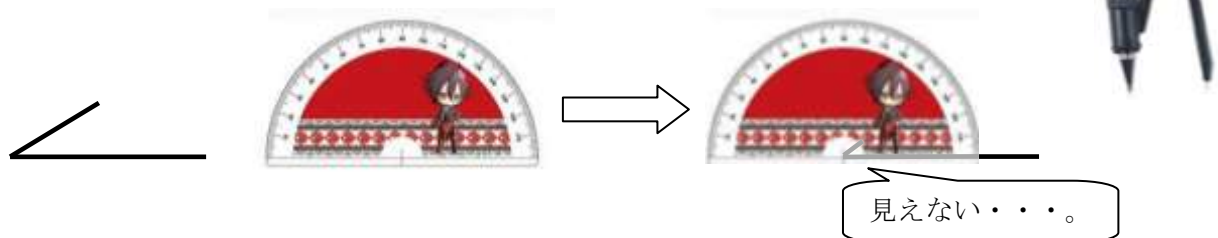
【統一する学習用具】

- ・直定規は1学年、三角定規は2学年、コンパスは3学年、分度器は4学年に進級した際、学年で一括して購入します。

同じ用具を使うことで統一した指導ができます。教材費に組み込んで購入します。

(望ましくない例)

- ・シャープペンシルが使われているコンパスは故障しやすい。芯折れが多い。
- ・色付き、キャラ付きの定規や分度器を当てると、図が見えなくなる。



【斡旋する学習用具】

- ・国語辞典・リコーダー・書道セット（3学年）
- ・彫刻刀（4学年）
- ・裁縫セット（5学年）

【ノート規格のきまり】

ノートについては、年度当初に学校で一括購入します。企画が決まり次第お伝えいたしますので、2冊目からはご家庭でご用意ください。

生活科、いきいき学習は、資料を溜めておけるようにフラットファイルを使用します。1～6学年始めに教材費で購入します(A4サイズ)。

※前年度に余ったノートのページは家庭学習に利用してください。

【その他】

全てにおいてシンプルで学習の妨げにならないものを推奨します。

2 授業のきまり

○授業の始まりと終わりは、しっかりと挨拶をします。

「気をつけ、始めます。」礼 「気をつけ、終わります。」礼

・儀式的行事の際には、「これから～式を始めます。」の後に礼があります。授業も同じにすることで指導が一貫します。言葉と礼を分けて行うことを「分離礼」といい、より丁寧とされています。

・チャイムと同時に「気をつけ」の姿勢ができるように指導していきます。

○授業が終わったら学習用具を片付け、次の授業で使うものを机の上に置くようにします。

○体育の授業は、必ず体育帽子をかぶるようにします（あごひもで首に引っかけている状態は認めません）。体育の授業がある日は、髪結び目を上に持ってこないようにお願いします。体育帽子がない場合は貸し出しますので、使用後洗濯をして持ってきてください。

Q : きまりを作っても学力が上がるわけではないと思いますが、なぜ作ったのですか？

A : きまりを守ったからといって、それ自体が学力を上げることにはなりません。ただ、学習に集中できたり、効果的な学習用具を使ったりすることで、学習の効果を上げることを目的としています。そういった取り組みを続けることで、学力を上げたりや規範意識を培ったりすることに繋がると考えております。

Q : 前の学年のノートが余っているので、使ってもよいですか？

A : 前の学年のノートは、家庭学習などに使ってください。教科では、ノートの使い方をより全員にわかりやすく指導したいため、まずは学校で一括して用意いたします。

Q : 2年生になって字も上手に書けるようになってきましたので、HBの鉛筆を使ってもいいですか？

A : Bか2Bを推奨していますが、HBを使ってはいけないというわけではありません。これからも、芯が固くなった分、しっかりとした筆圧でていねいに書くよう指導して参ります。少し書きにくいようでしたら、またご相談ください。

Q : 高学年だから、もうシャープペンを使ってもいいと思いますし、飾りつきでも集中力が途切れることはありません。

A : 学習の集中力に関して個人差があることは承知しております。個人差があるため、何年生から「学習用具を華美にしても集中力が途切れない」といった明確な線引きができないのです。1年生がだめで高学年がよいといった統一感のない指導をしないためにきまりを設けました。

Q : すぐに学習用具を買い替えた方がいいですか？

A : すぐにというわけではありません。朝日小学校としては、平成33年度には1～6年生までの学習用具を揃える見通しです。ただ、新しいものを買うときはきまりに沿ったものを用意してください。学習用具を揃え直すことも推奨いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。